平成24年6月12日

各 位

上場会社名　ウインテスト株式会社
代表者　代表取締役社長 奈良　彰治
（コード番号　6721）
問合せ先責任者　専務取締役 樋口　真康
（TEL　045-317-7888）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年9月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年7月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年8月1日～平成24年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,057	40	38	40	830.50
今回修正予想(B)	715	△109	△112	△109	△2,220.70
増減額(B-A)	△341	△150	△151	△150	
増減率(%)	△32.3	―	―	―	
(ご参考)前期実績（平成23年7月期）	583	△281	△282	△274	△5,568.03

修正の理由

当社が属する半導体、フラットパネルディスプレイ業界におきましては、半導体のスマートフォン関連等、一部の分野に設備投資需要の回復が見られました。しかしながらその他の分野では、昨年の自然災害からの回復途上で進行した円高及び欧州の経済不安等による影響から、輸出及び消費は伸び悩み、設備投資の抑制が継続したため、装置需要が当初予想を下回る結果となりました。

このような厳しい経営環境のなかで、当社は半導体関連検査装置の新規機能の開発や拡販を積極的に推進し、既存顧客のニーズに対応するとともに、新規顧客の開拓や自社製品の開発に取り組んでまいりました。また、顧客ニーズに迅速、的確に対応できる営業推進体制として導入した、営業担当とエンジニアが一体化した営業組織により、国内外における受注、売上の拡大を推進してまいりました。特に顧客の開拓におきましては、より広範囲に営業活動を展開したことにより、国内外における新規引き合いの件数が増加傾向に転じました。

しかしながら、新たな開拓先における装置の評価選定期間の長期化や、顧客からの受注プロセスに予想以上に時間を要したこと等により、各案件における受注リードタイムが長期化いたしました。このため、当第3四半期の受注高が当初計画値を下回り、通期売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。
また、利益面では、売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みです。

以上により、平成23年9月13日に公表いたしました平成24年7月期の業績予想を修正いたします。

以 上